



ごみ減量地域説明会

ごみの減量やリサイクルについて、市職員による出張説明会を随時開催しています。ごみの分別・出し方・処理の流れ、ごみ減量のポイント等についてお話しします。

市内在住・在勤・在学の団体等

申込電話

限希望日の2週間前

先週生活環境課ごみ・リサイクル係

カラスに注意

繁殖期(春・夏)のカラスは、卵やヒナを守ろうと過敏になっているため、巣に近づく人を威嚇・攻撃することがあります。くちばしをカチカチ鳴らしたり、鳴きながら頭上を飛び回るカラスは、後方から頭をめぐり、速やかに通

過しましょう。

カラスを含めた全ての野生鳥獣は、「鳥獣保護管理法」により許可なく捕獲することは禁じられています。

生活環境課環境保全係

5月22日は国際生物多様性の日

生物多様性とは、生きものが暮らす環境において、多種多様な生きものがお互いにつながり、影響しあっている豊かに生命を育んでいることです。

私たちの暮らしは、食べ物や衣服、飲み水等、色々な形で生きものもたらす恵みに支えられています。この機会に生物多様性について考えてみませんか。

詳細は「環境省ネイチャーポジティブ」(下記参照)をご覧ください。



緑と環境課環境政策係

ご理解ください

農産物栽培の農薬散布

果樹類の栽培は、年数回、病害虫対策のために農薬を使用する必要があります。市では、農薬の飛散を抑え

5月30日はごみゼロの日

毎年5月30日は「ごみゼロの日」として全国で環境保護の意識を高める活動が行われています。この日は、語呂合わせで「530=ごみゼロ」とされ、ごみ削減やリサイクル促進を通じて持続可能な社会を目指します。

一人ひとりの小さな取り組みが大きな変化となります。自身の生活習慣を見直し、ごみの分別や使い捨てプラスチックの削減等、身近なところから行動しましょう。

生活環境課ごみ・リサイクル係



子育て講座 子どもの褒め方

子どもは自分の行動が誰かに注目されるとその行動を増やそうと考えます。その特徴を踏まえた褒め方を紹介いたします。子どもを褒めて伸ばしたい方、褒め方を学び直したい方にお勧めです。

市内在住で3歳〜小学3年生の保護者

6月12日(金)

午前10時〜11時30分

4人(申込先着順)

保育有り(1歳6カ月以上の未就園児に限る)

申込フォーム

(下記参照)、電話

(5月18日)月午

前9時〜

先週子ども家庭支援センター

☎378・6366

青少年委員を委嘱しました

5月1日付で青少年委員を島田海穂氏に委嘱しました。任期は令和9年3月31日までです。青少年委員は、青少年

防弊シャッターの設置促進や、農薬散布を周知するのぼり旗掲揚の徹底等、周辺環境と共生できる農業を目指しています。

経済課農政係、JA東京みなみ稲城支店指導経済課

☎377・6002

募集します 第2種会計年度任用職員(放課後子ども教室安全管理補佐員)



夏休みに放課後子ども教室で勤務する方を募集します。詳細は市(右記参照)をご覧ください。

子どもの見守りができ、健康で体力のある方(大学生可)

勤務期間 7月中旬〜8月末(週3〜5日程度)

勤務時間 午前8時30分〜午後6時15分の間で1日4〜6時間程度

場 市立小学校内

定員 10人

報酬 時給1,251円

※交通費別途支給

第2種会計年度任用職員登録台帳兼履歴書を持参または郵送

6月12日(金)

生涯学習課社会教育・公民館係



健全育成の中心的役割を担っており、各地区の青少年育成地区委員会等からの推薦により選出されます。

児童青少年課青少年係



▲島田 海穂氏

意見を募集します 稲城市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定案

新型インフルエンザ等の対策に関する基本方針等を示す計画の改定を進めています。計画の素案がまとまりましたので、意見を募集します。

市内在住・在勤・在学の方、

災害情報・地域情報をお知らせ! 稲城市LINE公式アカウント

市長コラム No.171

令和8年度の人事異動について

本年も年度の切り替えと共に人事異動がありました。特別職等の異動について概要をお伝えします。

選挙管理委員会

委員長他が異動がありました。平成8年12月から委員に就任され平成24年12月から13年余にわたって委員長を務められた渡邊光恵氏が3月末に退任され、後任には令和6年12月から委員を務められている城所正彦氏が委員長に就任されました。また、渡邊氏の退任に伴い渋谷眞澄氏が委員に就任されました。

渡邊氏は大学教授の経歴を發揮され、数々の突発的な選挙にも冷静かつ女性ならではのきめ細やかな視点で対応され、大過なく現場を統括してくださいました。

後任の城所氏は郵便局長や稲城市教育委員の経験もあり、今後の活躍に期待します。

稲城市消防団

馬場 芳則団長が任期満了で3月末に退任され、後任には進藤 典吾副団長が団長に就任し、新たに栗山武氏が副団長に就任しました。馬場氏は昭和55年4月に第六分団に入団し平成4年4月から分団長に就任され、平成6年3月末に一旦退任しました。平成14年4月には本団に再入団し副団長を務め、令和2年4月か

ら団長に就任しました。3月末に退任されるまで通算38年の長きにわたり消防団の任務を全うし、冷静沈着で時に厳しい姿勢を貫き、おかげで事故なく団活動を指揮していただきました。

稲城市消防委員会

長年委員長を務めていただいた上原健次氏が任期満了で退任され、新たに前消防団長である松本幸次郎氏が委員に就任されました。上原氏は昭和60年2月に消防委員に就任し3月末に退任されるまで委員として41年余、うち委員長として12年余にわたり稲城市消防のあり方についてご意見を賜りました。

新たな特別職の設置

今回の異動では新たな特別職として「政策監」を設置しました。本件については3月開催の令和8年第1回市議会定例会に「稲城市特別職の指定等に関する条例」を上程して根拠規定を制度化したうえで、人事案件を追加議案として上程し「都市基盤整備政策監」に久家康氏を任命することの同意を得ました。

市の特別職としては副市長と教育長があります。これらの職はそれぞれの法律に基づいて設置が必須となっており、副市長は市長の所管する行政全般にわたって補佐し、教育長は教育行政全般を所管します。

この度の政策監は、市が直面する様々な諸課題のうち今後ますます複雑化する数部署に跨って調整事を要する都市基盤整備に関して副市長を補佐する特別職に指定することとしました。

稲城市では現在、南山東部・榎戸地区の土地区画整理事業が完了に向かっていくと共に、新たに若葉台駅東(坂浜)地区に土地区画整理事業を開始する機運があります。こうした都市基盤整備については、事業自体の進行管理以外に、財源や工事内容等に関する国や東京都等との調整、「換地」に伴う地権者との調整、公共交通機関との調整等多岐にわたる連絡調整が必要となります。

昨今の運転手不足に伴うコミュニティバス・路線バスの縮小に対する代替策の検討等も含めて総合的な知見が必要であり、それらに長年の経験を有する久家氏を指定しました。

稲城市は日々変化と成長を続ける発展途上のまちです。今回の人事異動で退任・転出された全ての皆さんに対して、これまで市の発展に果たされたご苦労に感謝いたします。

都市基盤整備の完成には今後も時間を要しますが、街の骨組みの最終形がようやく見えてきました。新たに就任・転入された皆さんには、更なる市の発展と完成に向けてご尽力を賜りますようお願いいたします。



稲城市長 高橋 勝浩